

令和3年6月吉日

桐ヶ丘中学校PTA
保護者の皆様へ

桐ヶ丘中学校PTA会長 川染 誉

より良い桐中 PTA 活動に向けて（アンケートへのお願い）

平素より PTA 活動に多大なるご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。
本校 PTA では子供たちの健全な育成に向けて、学校と家庭が協力して、教育環境や生活面でのより良い環境づくりに努め、先生方と保護者との繋がりを大切に、会員相互の親睦や教養を向上させるためにこれまで長い間、委員会制度を用いて運用しております。

（つまり PTA 活動は、各委員会を支える保護者の皆様のご尽力によって成り立っています）

ここ数年、共働き家庭等の環境変化により、一定数の委員を定めて運用する現行のやり方だと委員の成り手不足となる傾向が見られたため、先日、本部役員内で話し合ったところ、様々な意見がありました。本校 PTA の活動目的を守りつつ、会員の皆様がより参加しやすい運用方法はどのような形がよいのか、保護者の皆様のご意見を伺い、検討を進めたいと思います。

まずはアンケートへのご理解とご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。

<今後の予定（どこまで会議にかけるかは、見直す内容によりますがご参考まで）>

① アンケートのお願い（本お知らせ）

*桐ヶ丘中学校ホームページにもお知らせします

② アンケート実施（QR コードからネットで回答又は紙で回答）【～6月30日頃迄】

③ 集計、アンケート結果のお知らせ【7月中旬頃予定】

④ PTA からのお知らせ【適宜】

⑤ 運営委員会【第3回 10/16、第4回 12/4、第5回 3/5 予定】

⑥ 年度末総会【3/5 予定】

アンケートの回答方法（6月30日までにご回答をお願いします）

・下記の QR コードを読み取り、ご回答ください（ご家庭で一回までとします）。

・読み取りが出来ない方は、添付したアンケート用紙にご記入頂き、担任の先生までご提出ください。



ご参考) 本部役員内での話し合っただ意見 (一部)

(1) 4月の委員決めで立候補が定員に満たず、毎年くじ引きになるが委員がなかなか決まらない点

- ・保護者会を欠席された保護者への連絡を先生にお願いしている。決まることも多いが、何度も繋がらず、なかなか決まらないことがある。
- ・4月早々で先生の負担にもなるが保護者から連絡することも個人都合は相談しにくい。
- ・一部の保護者の意見だが、委員なら出来るが委員長は負担が大きく受けられない。
- ・くじ引きで背中を押してもらったほうが立候補するより引き受けやすいという意見もある。
- ・くじ引きで委員になったが、いざやってみたら、思っていたより大変ではなかった。
- ・昔に比べれば年々、活動自体は減っている。

(2) 委員長の負担について

- ・委員長は正副あり、特に委員長は精神的に負担が大きいと思う (副委員長なら受けるので副委員長に立候補する方もいるくらいと他校では聞いたことがある)。
- ・本部役員と違って毎年必ず交代があるので、引継ぎが難しく、委員長一人だと相談相手がいないときに不安を感じる (業務量は本部役員の方が多くがチームとして活動できている。活動量ではなく精神的な負担が委員長の方が本部役員より大きいかもしれない)。
- ・では単純に委員長を複数立てる案もあるが、そもそも正副ではなく、副委員長も委員長と同じ立場 (委員長が複数) の方が、お互いにやりやすいのでは？

(3) 参加しやすいやり方はどうすればよいか？

- ・会員である保護者が全員何等かの関わりを持ってくれるのが理想では？
- ・仕事や家庭の事情でどうしても参加できない方もいて、そこは受け入れるべき。事情は平等ではないのでそこで公平性を求めずに、集まった人達で運営できる方法を考える。
- ・委員長の役割を本部役員にまとめることで、PTA活動に“より参加しやすい形”になることはあると思う。しかし今度は本部役員の成り手が難しくなるのでは？
- ・初めは委員として携わったが、思ったより業務が多いわけでは無く、先生や保護者との知り合いも増えて楽しく関わられたので、今は本部役員として活動している。
- ・活動が見えていない (特に本部役員) のので、概要でもいいので発信したほうがよい。見えないと過剰に大変だと思ひ込み、手を上げにくい部分もある。
- ・高校に上がると子供たちは別々になり、この地域で一緒に育つ短い中学校生活で、先生や保護者と知り合いを作ることは、地域に住む上で安心だし、子供たちや保護者のお互いの顔が分かることで、地域の防犯にもつながっている (コロナ禍になってからは、相談できる人がいないと孤立しがち)。

(まとめ)

委員長の負担を軽減するには正副をやめて委員長を複数立てる案や、委員長の役割そのものを本部役員にまとめる案まで意見は出ましたが、委員会制度を変えることは規約を大幅に変更することになり、これまで続けてきたことが今後出来なくなることも考えられます。そこで保護者の皆様にもご意見を伺いつつ、慎重に検討を進めることが適切と考え、まずはアンケートにてご意見を集めることにしました。

運用方法の検討案

これまで運用してきた委員会制度を保護者の状況に合わせて見直すことは必要ですが、メリットもあれば逆にこれまで無かったことが負担になることもあるので、今後、多くの保護者の皆様が継続的に楽しく活動できるよう幅広いご意見をお願い致します。

下記は本部役員内で出た運用方法の案ですが、ここに書いてあるメリットやデメリットが全てでは無いと思いますがご参考頂ければと思います。

運用方法	メリット	デメリット
現行（委員会制度）	<ul style="list-style-type: none"> ・一定数の委員が確保できる ・計画を立てやすい（予算も立てやすい） ・公平性はある ・くじ引きで新しい知り合いが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定数見つかるまで電話対応が続く ・委員という固いイメージ ・委員長に孤独感があり、負担も大きい
案1 （委員会制度の一部変更） 例：正副を無くし、委員長を複数たてる	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長への負担を軽減する効果はそれなりにありそう ・規約の変更は少ない（活動自体は現行のやり方を踏襲できる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年交代する引継ぎの問題は一部残る（が、改善は見込める）
案2 （ボランティア型スタッフ制？） 例：委員会ではなく、本部役員に旗振り役を置き、お手伝い出来る方を都度募集する	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は参加しやすい ・突発的な活動が発生しても出来る範囲だが対応が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まるかどうか不安 ・本部の成り手不足につながらないか？対策が必須 ・仲の良い集まりだけになると入りにくい（一人では手を挙げにくい） ・計画した通りの実施が見込めない場合、予算の見直しや返金？の対処をどうするか？
その他		